

い。取。環。界。

自分たちで企画・開発した商品が、地球の未来を救うきっかけに

地元の特産物を活かした商品の開発

南陽高校 Nanyo Company部

昨年11月3日に名古屋港区の名古屋港ガーデンふ頭で開催された「港区区民まつり」おまつりらしく、数々の飲食ブースが並びなで注目を集めた食べ



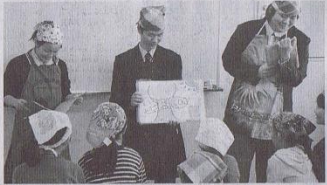
ミナトバイボールを調理する様子

フェアトレードとカーボン・オフセットを推進

商品の開発に大きな役割を果たしたのは、愛知県立南陽高校 Nanyo Company部。地域との関わりを通して、商品の企画製造販売などについて学ぶことを目的とする課外部の活動だ。

活動を開始したのは2010年から。当初から地域貢献と共に大きなテーマとして取り組んできたのが「フェアトレード」だ。これは、「カーボン・オフセット」は埋め合わせを意味する。地球温暖化の原因となるCO2をできるだけ減らし、どうしても使わざるを得ない分は、CO2の削減・吸収のプロジェクトに投資することで埋め合わせるという考え方だ。

また、活動を進めるもう一つの柱となっているのが、「カーボン・オフセット」。「カーボン」は二酸化炭素(CO2)を、「オフセット」は埋め合わせを意味する。地球温暖化の原因となるCO2をできるだけ減らし、どうしても使わざるを得ない分は、CO2の削減・吸収のプロジェクトに投資することで埋め合わせるという考え方だ。



地域の小学生にもカーボン・オフセットを啓発



オリジナルキーホルダーも製作

地球環境を自分たちの力できれいに

「部活動を通して、とても幅広い分野の人と出会うことができてのが、すごく楽しいですね」というのは2年生の渡邊麻里さん。1年生の嶋田美優さんは、「自分たちが汚してしまった地球環境を、自分たちの力できれいにしていくことに、とても魅力を感じています」と語る。こうした積極的な取り組み



Nanyo Company部のみなさん

みは、幅広い分野で高く評価されている。昨年末に開催された「第5回カーボン・オフセット大賞」では、特別賞を受賞した。

活動を通して、地域の幅広い人たちの交流が深められると同時に、地球規模で環境問題について考え、それを自分たちの毎日の暮らしのあり方と結びつけてい

くことができる。そんな活動を進める高校生たちの目はとても輝いていた。